

# EUの都市問題と エネルギー戦略

ーデンマーク・コペンハーゲンを事例にー

ERINA北東アジア研究叢書11「大国のなかの地域経済ーアメリカ・中国・日本・EU・ロシア」出版記念Webセミナー事例から考える中規模都市の成長ーコペンハーゲン、福岡、中国・合肥ー

2022/04/21  
倉地真太郎（明治大学）

1

## はじめに

- デンマークの基本情報
- EUとデンマークの都市問題
- デンマークの都市
- デンマークの環境政治と移民問題
- デンマークのコペンハーゲンのエネルギー戦略
- 今後の課題と展望

2

## デンマークの基本的な情報

- 公用語：デンマーク語
- 人口580万人（兵庫県ぐらい）
- 国土は九州とおおよそ同じ面積
- 単一制国家・一院制・比例代表制
- EUに加盟しているが、独自通貨デンマーククローネ（DKK）を発行。  
NATOに加盟。



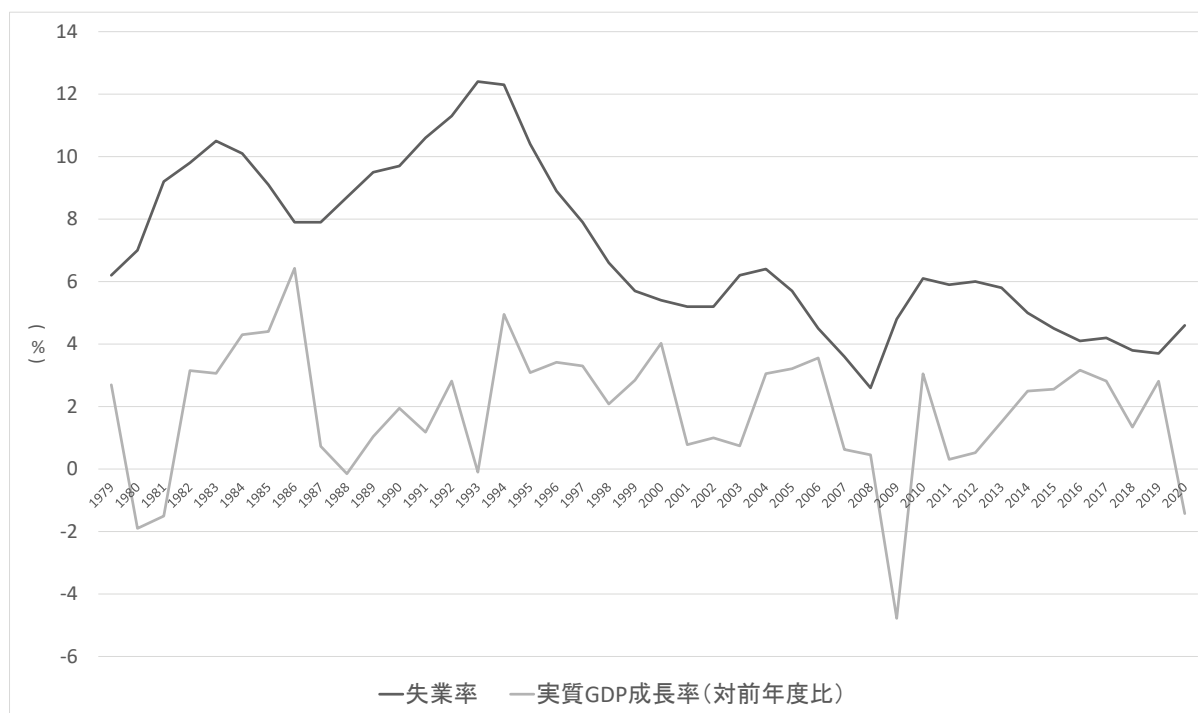
3

## EU諸国をリードするデンマーク

- 環境先進国としてのデンマーク、環境先進都市であるコペンハーゲン。
- 「デンマークの奇跡」といわれるフレキシキュリティ（フレキシブルとセキュリティの造語）
- 電子政府化が最も進むデンマーク（国連の分析）

4

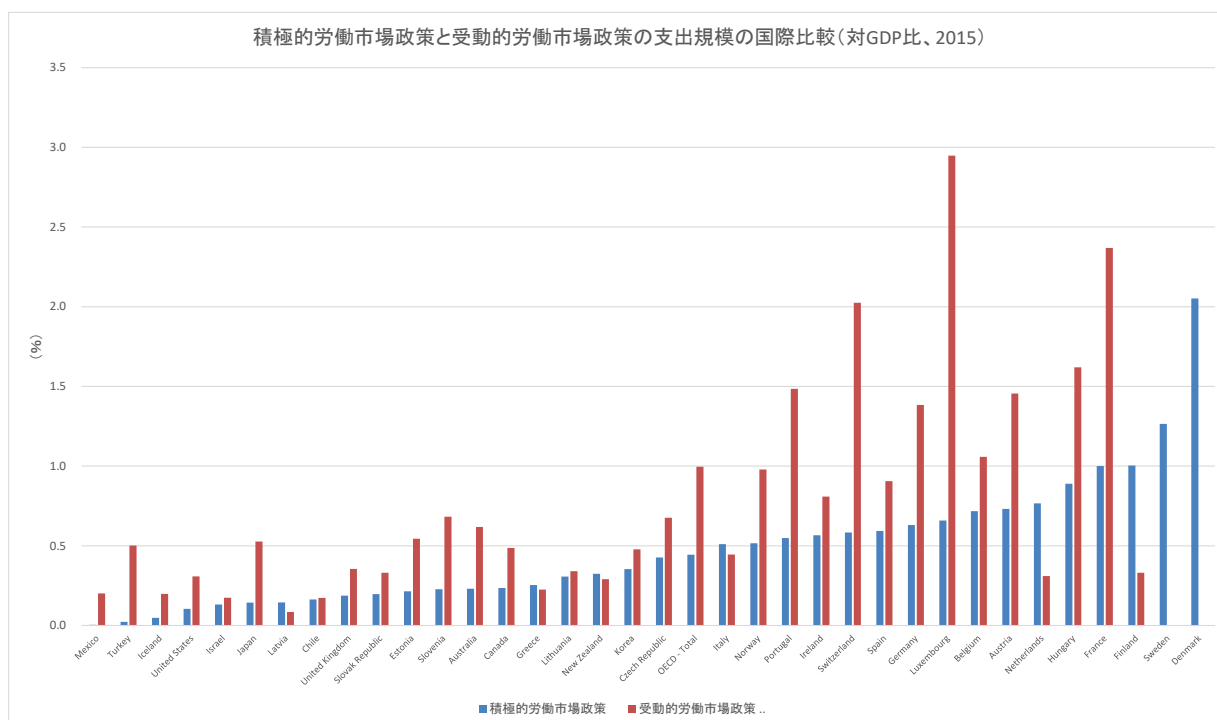
## デンマークの失業率と実質GDP比率成長率の推移



出所：Denmark Statisticsより作成

5

## 積極的労働市場政策に多くの支出を割くデンマーク



出所：OECD Social Expenditure Databaseより作成

6

## EUの経済統合の課題

- 財政統合なき通貨統合（神野直彦）  
→ 共通通貨を導入しているが、本格的な財政調整は行っていない  
→ 財政調整がないことで生じる問題 → 欧州債務危機の背景
- コロナ対策としての共同債発行 → 財政統合は進むのか？
- 北欧諸国のEUとの関係。反EU統合の勢力。

7

## EUが直面する「都市問題」

- （1）都市部における人口集中・土地価格の高騰  
→ 不動産投資の活発化・都市周辺での住宅問題
- （2）移民・難民問題。社会的分断の拡大。  
→ 都市部に集中する移民。欧州諸国における極右政党の勢力拡大。  
福祉ショービニズム。社会住宅による統合の課題。  
  
→ デンマーク、特にコペンハーゲンはどのような都市問題に直面しているのか？

8

# デンマークの「都市」

- デンマークの首都コペンハーゲン
- 広域自治体のデンマーク首都地域
- ※2007年地方自治体再編→県の廃止と広域自治体の設置
- コペンハーゲンメトロポリタンエリア（鉄道網）  
→都市計画とリンク



出所：DANSKE REGIONER(2011) THEREGIONS-INBRIEF  
<https://www.regioner.dk/media/1334/regionerne-kort-fortalt-2011-engelsk.pdf>

9

## コペンハーゲンの都市問題

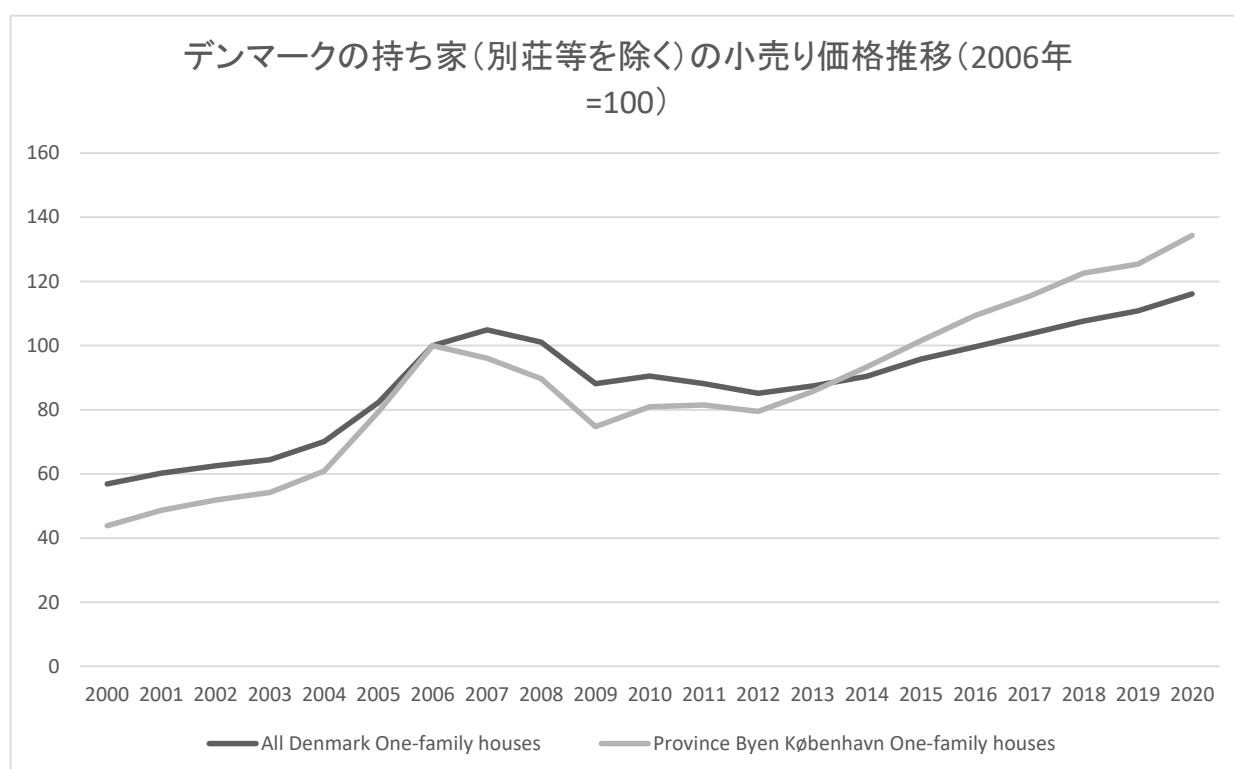
- 経済集中度の上昇、緩やかな人口増加、土地価格の高騰がリーマン・ショック前を越える
- 不動産投資の活発化と家賃高騰→住宅問題の発生
- 社会住宅地区の集中と移民の集中による地理的分断
- 環境先進都市としてのコペンハーゲン。環境運動の中心地。

10

## デンマークにおける極右政党の台頭

- 前身は反税政党・進歩党。1970年代に台頭。
  - 2000年代以降、極右政党・デンマーク国民党が議会のキャスティングボードを握る。
  - 移民排外主義的な政策に強い影響を与える。
  - デンマーク国民の福祉を守るための福祉ショービニズム。
- ただし、2019年6月国政選挙で大敗。背景には移民問題の相対化（環境問題や税制問題の注目）。既存政党が移民排外路線を包摂。さらなる極右政党の台頭。

11

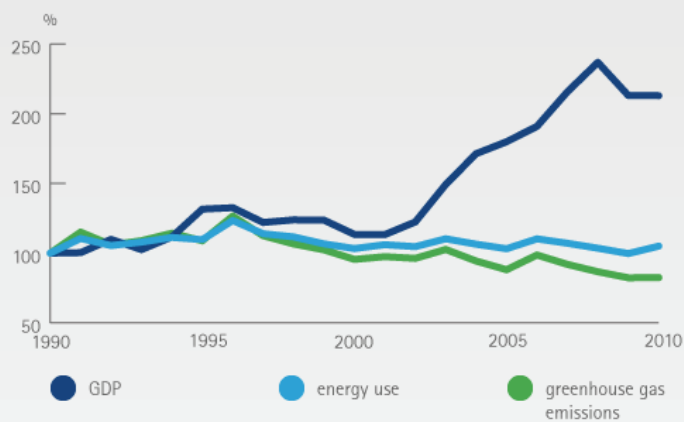


出所：Denmark Statisticsより作成

12

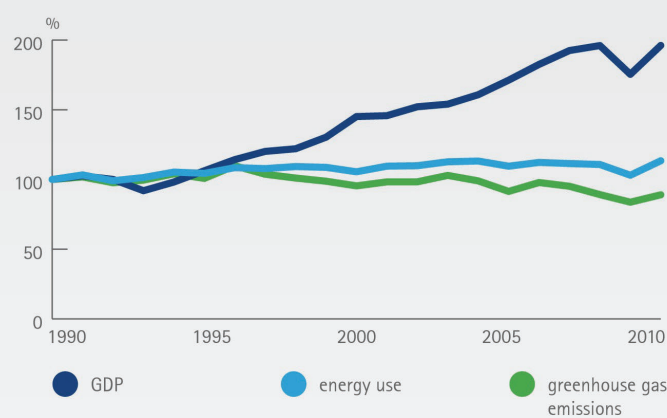
デカップリング（経済成長と温室効果ガス削減の両立）は可能か？

Danish GDP, energy use and emissions



©Nordic Energy Research 2012. Source: EEA/World Bank 2010

Nordic GDP, energy use and emissions



©Nordic Energy Research 2013. Source: EEA/Eurostat/World Bank 2011

出所：Nordic Energy Research HPより抜粋  
<https://www.nordicenergy.org/figure/decoupling-economic-growth/>

13

環境先進国のデンマーク、環境先進都市のコペンハーゲン

- 再生可能エネルギーの普及率が50%に到達
  - 2030年までに1990年比で7割温室効果ガスを削減、2050年にはカーボンニュートラルを達成する目標。
- コロナ後の経済対策の柱としてグリーンリカバリーを掲げる。

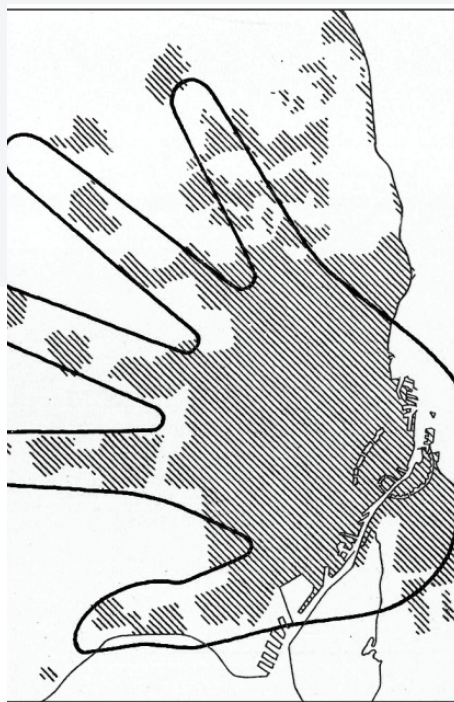
- 環境先進都市であるコペンハーゲンも気候計画（CHP2025）を策定し、2025年までにカーボンニュートラルを目指す
- バイオマスの活用。地域熱暖房の普及率の高さ。所得増・雇用政策と生活環境改善が結びついたカーボンニュートラル戦略。

14





出所 : Danish Ministry of the Environment(2015)13頁より抜粋



出所 : Danish Ministry of the Environment(2015)p.5より抜粋



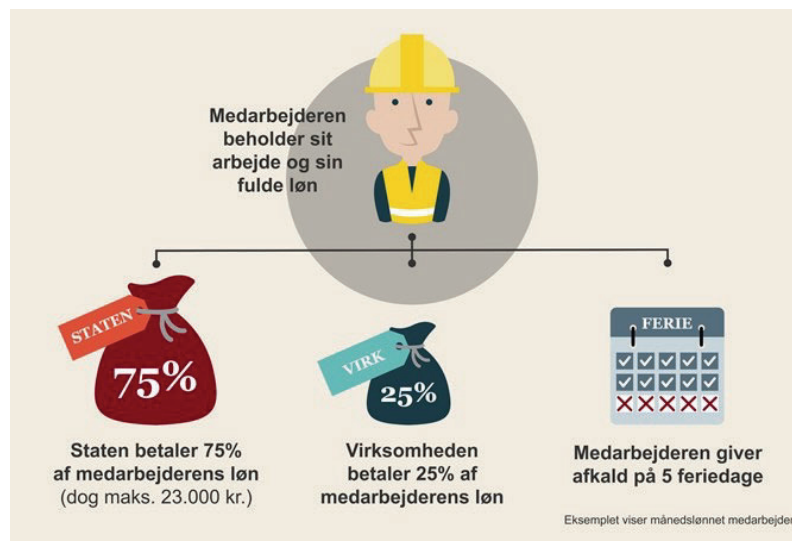
## デンマークの都市計画：フィンガープラン

- 第二次世界大戦後、複数回に渡って策定された都市計画。
- 都市のスプロール化を防ぎ、過密な都市計画の防止。
- 近年では環境省が策定。都市のエネルギー政策と連携。



## 今後の課題と展望

- 都市のエネルギー政策の戦略やカーボンニュートラルの達成を裏で支える電子政府
- コロナ禍でのスピーディーな国・自治体の対応  
※政労使による賃金保障スキーム、コロナパスの導入
- 緩やかな人口集中と自治体間格差の拡大→自治体間対立の顕在化



出所：Finansministeriet”Trepartsaftale skal hjælpe lønmodtagere”(2020.3.15)<https://fm.dk/nyheder/nyhed-sarkiv/2020/marts/trepartsaftale-skal-hjaelpe-loenmodtagere/>